



# 全学共通教育科目『地域の理解』授業改善の試み

五條小枝子(県立広島大学 総合教育センター)  
馬本 勉 (県立広島大学 生命環境学部)

## ■ 改訂の趣旨

- (1) 「広島」をいろいろな視点から見つめる。
- (2) 「広島」の現状を理解し、その実態を肌で感じ取る。
- (3) 「広島」の問題や課題を発見し、それについて考える。



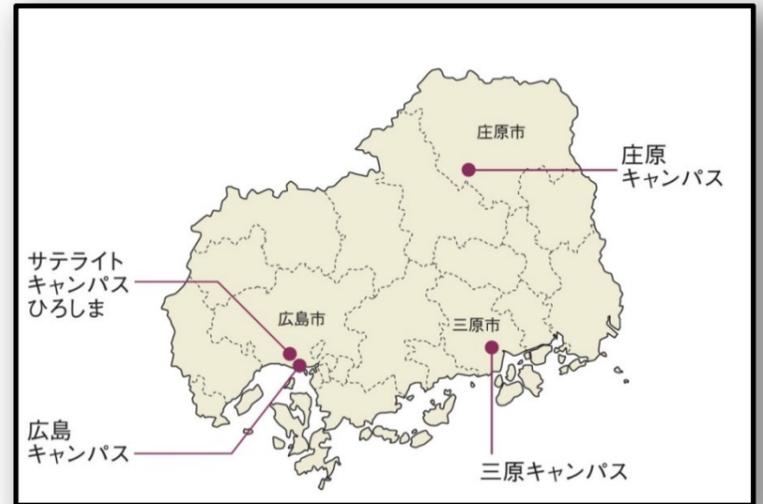
「物事に主体的に向き合う姿勢」を培う

## ■ 改訂の概要(継承と展開)

- ✓「座学 15コマ+学外見学という大まかな構成」⇒ フィールドワークを柱とした構成に変更
- ✓フィールドワークと連動した講義内容
  - 自主計画学外研修 ⇒ 事前学修と目的意識の明確化
- ✓感想カード(兼出席カード)の記入時間(講義終了時に10分)の設定
- ✓合同発表会の開催(3キャンパス4学部の受講生が一堂に会する)
  - グループワークによるフィールドワークの振り返りと各自の調査結果の検討
  - 学生による相互評価



3キャンパス間の  
距離を超えた  
交流へ



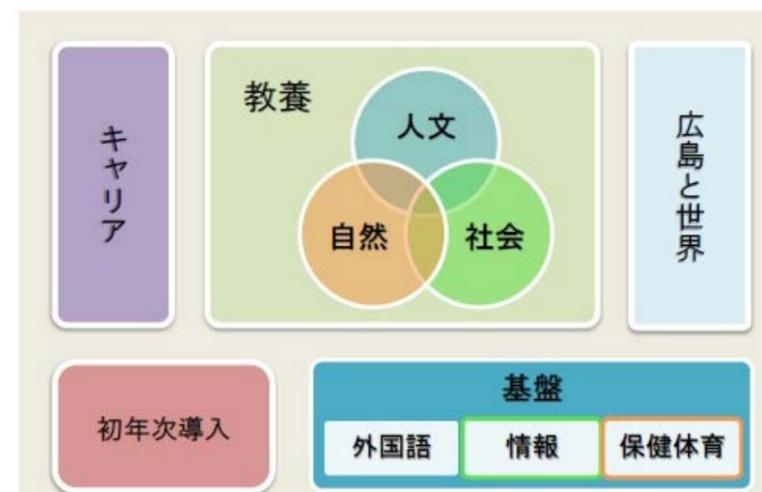
## ■ 人材育成目標

主体的に考え、課題解決に向けて行動できる実践力と豊かなコミュニケーション能力を備え、幅広い教養と高度な専門性に基づいて、高い志とたゆまぬ向上心を持って地域や国際社会で活躍できる人材を育成する。

## ☆ 評価について ☆

- ① レポート 計3回 50%
  - (1) フィールドワークに関するレポート(1回)
    - 先行研究の整理と検討(文献研究)をふまえ、フィールドワークで得られた地域の情報・課題等を整理(実践研究)する。
  - (2) 講義に関するレポート(フィールドワーク先以外の地域)
    - それぞれ講義で提示されたテーマについて作成する。
    - 第1回 前半の講義から一つを選択
    - 第2回 後半の講義から一つを選択
- \* レポートの評価は、講義担当者
- ② 合同発表会での相互評価と教員評価 40%
- ③ 講義・フィールドワークへの取組姿勢 10%

## ■ 新たな全学共通教育概念図



## ■ 平成 26 年度「地域の理解」プログラム

授業タイトル	発信元	担当者	フィールドワーク先(所在地等)
①② 似島の宝を探せ!	広島	和田 崇:経営情報学部経営学科	似島(広島市南区) 実施日:2014年11月22日(土)
③ 近・現代における中国山地のたたら製鉄業について[第1回]	広島	野原建一:広島県立大学名誉教授	太田川上流域の【たたら製鉄】を学ぶ (山県郡安芸太田町大字加計) 案内役:林 俊一(太田川アクティブアーチ代表) 実施日:2014年10月18日(土)
④ 人と地域をつなぐNPO	広島	竹内 瞳:ひろしま市民活動ネットワークHEART to HEART 事務局長	NPO法人セトラひろしま(もとまち自遊ひろば) 実施日:2014年10月26日(日)
⑤ 広島県の神楽	庄原	築地昭二:安芸高田市文化財保護審議会委員	神楽門前湯治村(安芸高田市美土里町4627) 実施日:2014年10月26日(日)
⑥⑦ 広島県の離島で高齢化の課題に対応する地域住民活動	三原	手島 洋:保健福祉学部人間福祉学科	江田島市飛渡瀬地区(いきいきサロン「よりんさいや」) 実施日:2014年11月22日(土)
⑧ 広島から世界へ ～筆は道具なり～	広島	高本 光:白鳳堂取締役統括部長	白鳳堂本社及び筆の里工房(安芸郡熊野町) 実施日:2014年11月21日(金)
⑨⑩ 平和都市ヒロシマの過去・現在・未来	広島	宇吹 暁:前広島女学院大学教授	広島平和公園 実施日:2014年12月6日(土)
⑪ 広島県の農業と中山間地域	庄原	村田和賀代:生命環境学部生命科学科	平田観光農園(三次市上田町1747-2) 実施日:2014年12月13日(土)
⑫ 近・現代における中国山地のたたら製鉄業について[第2回]	広島	野原建一:広島県立大学名誉教授	※ 10月に実施
⑬ フィールドワーク総括	広島	五條小枝子:総合教育センター	グループワーク等作業日
⑭⑮ 合同発表会	2015年2月7日(土) 広島キャンパスにおいて実施		

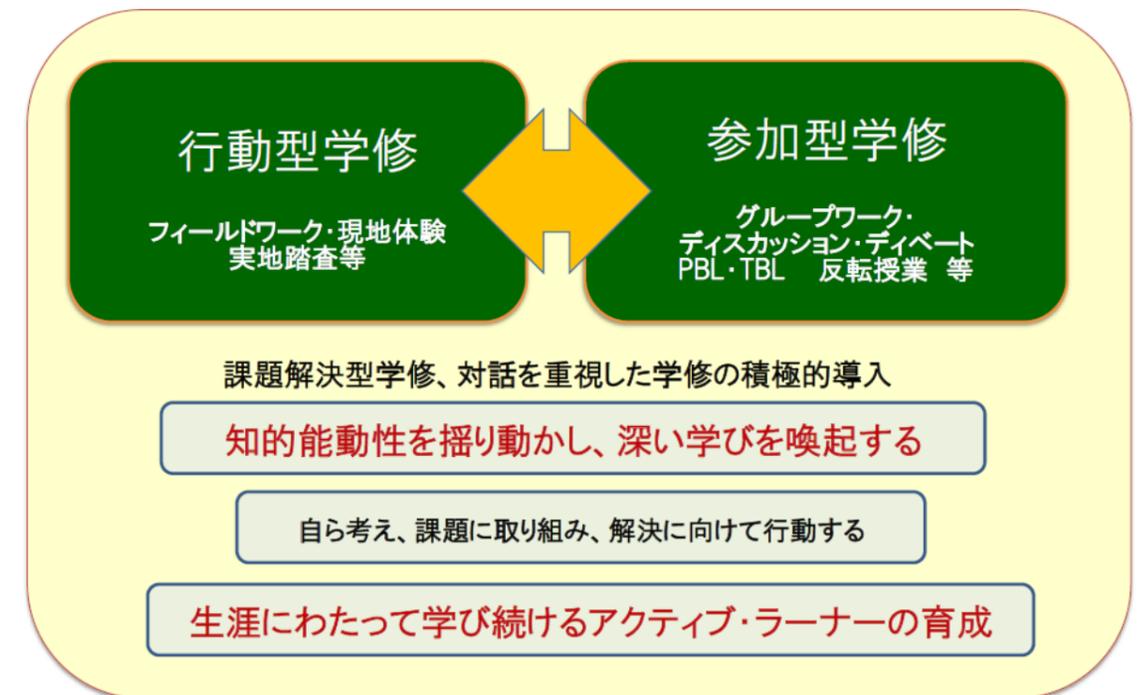
## 【参考】平成 27 年度「地域の理解」プログラム

授業タイトル	発信元	担当者	フィールドワーク先(所在地等)
① イントロダクション	広島	五條小枝子:総合教育センター 上水流久彦:地域連携センター	
② 広島県の神楽	庄原	築地昭二:安芸高田市文化財保護審議会委員	神楽門前湯治村(安芸高田市美土里町4627) 実施日:2015年11月1日(日)・日(火)
③④ 中国山地の近代たたら製鉄業	広島	野原建一:広島県立大学名誉教授	太田川上流域の【たたら製鉄】を学ぶ(山県郡安芸太田町大字加計) 案内役:林 俊一(太田川アクティブアーチ代表) 実施日:2015年10月17日(土)・18日(日)
⑤⑥ 広島県の離島で高齢化の課題に対応する地域住民活動	三原 広島	手島 洋:保健福祉学部人間福祉学科 同上	ふれあいいきいきサロン「笑福亭」および移動販売「一光」(江田島市) 実施日:2015年11月21日(土)
⑦ 広島から世界へ ～筆は道具なり～	広島	高本 光:白鳳堂取締役統括部長	白鳳堂本社および筆の里工房(安芸郡熊野町) 実施日:2015年11月20日(金)
⑧ 広島県の農業と中山間地域	庄原	村田和賀代:生命環境学部生命科学科	(株)広島三次ワイナリー(三次市東酒屋町445-3) 実施日:2016年1月9日(土)
⑨ 広島県の畜産の歴史	庄原	同上	畜産資料館(庄原市七塚原) 実施日:2015年12月24日
⑩ 英学と地域の学問 :庄原英学校と倉田百三	庄原	馬本 勉:生命環境学部生命科学科	庄原市田園文化センター(倉田百三文学館)および庄原英学校校址 実施日:2016年1月6日(水)
⑪ ヒロシマを考える	広島	宇吹 暁:前広島女学院大学教授	広島平和記念公園 実施日:2015年12月12日(土)
⑫ 地域の暮らしを豊かにしたい!～NPOの視点から～	広島	竹内 瞳:ひろしま市民活動ネットワークHEART to HEART 事務局長	NPO法人もちもちの木(古田のおうち) 実施日:2015年12月19日(土)
⑬ フィールドワーク総括	広島	五條小枝子:総合教育センター	グループワーク等作業日
⑭ 合同発表会に向けて	広島	同上	
⑮ 合同発表会	2016年2月6日(土)広島キャンパスにおいて実施		



## ■ 県大型アクティブ・ラーニングの特徴

アクティブ・ラーニングの定義…学生の主体的学びを育む能動的学修



## ■ 学生の意見

- 実際に足を運んでみる事ができて、よかった。もっと詳しく地域振興について学びたかった。
- 地域について考えたことはあったつもりでも、今回『地域の理解』を受講し、新たに得たことは大きかった。
- 地域のさまざまな現状を認識し、解決策を考えることができた。
- 地域について考えること、仲間を集めて何かすること、今まで考えたことのなかったことを考えることができた。今後、自分の足で歩いて行動していきたい。
- もっと地域について真剣に考え、興味を持つためにも、まずは、庄原の町を歩き、何かを発見し、何かを感じ、行動に移す必要があることを知った。地域の人との関わりも大切で、地域の人とふれ合うことで活性化につながると思う。

「学生による授業改善アンケート」「感想カード」より抄出

## ■ 平成 27 年度以降への課題:深い理解を促すために

- <成果> 本科目のプログラムに取り組む過程で、学生は、自他の学修内容を相対化し、地域の情報を自らの中で、再度、整理、考察する機会を得ている。  
広島という「地域」についての関心や理解、ひいては、他者への関心や理解をより深めている。
- <課題> 講義内容と各自の調査・研究の成果とフィールドワーク先で得た情報とをより深く連動し、内面化するために、本科目に設けられた各種プログラムへの取り組み姿勢に対する意識付けを明確化する必要がある。